

兵庫県下の経済動向

平成22年12月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	．．．．．	1
生 產	．．．．．	2
個 人 消 費	．．．．．	4
設 備 投 資	．．．．．	6
住 宅 投 資	．．．．．	8
公 共 工 事	．．．．．	9
貿 易	．．．．．	10
物 價	．．．．．	11
雇 用	．．．．．	13
信 用 保 証	．．．．．	15
金 融	．．．．．	16
倒 產	．．．．．	17

【概 況】

最近の県内景気は、持ち直しを続けているが、そのペースは一段と鈍化している。

輸出は、増加を続けているものの、その伸びは鈍化している。生産は、増加ペースが一段と鈍化している。設備投資は、下げ止まっている。個人消費は、持ち直しの動きがみられる中で、耐久消費財では強弱の動きが交錯している。また、住宅投資は持ち直し基調にある一方、公共投資は増勢が一服している。この間、雇用・所得環境は依然厳しい状況にあるが、改善の動きがみられている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が冬物の衣料品が伸び悩んだことなどから、4か月連続で前年を下回った。乗用車販売は、エコカー補助金終了の影響により、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車とも減少したことから、3か月連続で前年を下回った。家電販売は、エコポイント制度見直しに伴う駆け込み需要などから、薄型テレビの販売が大きく伸びているほか、エアコン、冷蔵庫の販売も増加しており、全体でも一段と増勢が強まっている。

設備投資は、製造業がほぼ横ばいの計画となっているほか、非製造業が増加計画となっていることから、2009年度に大きく落ち込んだ後、小幅ながら増加に転じる計画となっている。

住宅投資は、持家、分譲、貸家とも減少し、全体では4か月ぶりに前年を下回った。

公共工事は、神戸市や兵庫県などが増加したことから、3か月ぶりに前年を上回った。

貿易は、輸出が米国、アジア、EU向けが増加し、10か月連続で前年を上回った。また、輸入については9か月ぶりに前年を下回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、電子部品・デバイス工業、金属製品工業、食料品工業などの低下により2か月連続で低下した。

雇用関係では、有効求人倍率は前月比横ばいとなり、新規求人数は前年を上回った。

また、所定外労働時間および一人当たり名目賃金は前年を上回ったものの、常用労働者数は前年を下回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年を下回って推移している。

企業倒産は、件数が前月をわずかに下回ったものの、前年を上回り、負債総額は前月および前年を上回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向。

9月の兵庫DIは、先行指数42.9%、一致指数44.4%、遅行指数75.0%となった。

9月の兵庫CIは、先行指数93.3、一致指数91.7、遅行指数98.2となった。

兵庫DIは、先行指数が3か月ぶり、一致指数が16か月ぶりに好不況の判断の分かれ目となる50%を下回り、遅行指数が3か月連続で50%を上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数が3か月ぶり、一致指数が2か月ぶりに前月差減となり、遅行指数は5か月連続で前月差増となった。

県統計課は「鉱工業生産指数や製造業の企業収益率など、生産活動を示す指数に足踏みの動きが出てきた」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

10月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は95.2、前月比0.4%低下。出荷指数は94.6、同2.0%上昇。在庫指数は107.6、同0.6%上昇。在庫率は127.6、同6.2%上昇。生産指数は2か月連続で低下、出荷指数は2か月ぶりに上昇した。また在庫指数は5か月連続で上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が7.3%増で11か月連続で上昇、出荷も3.2%増で11か月連続で上昇した。また在庫は6.3%増で3か月連続で上昇した。

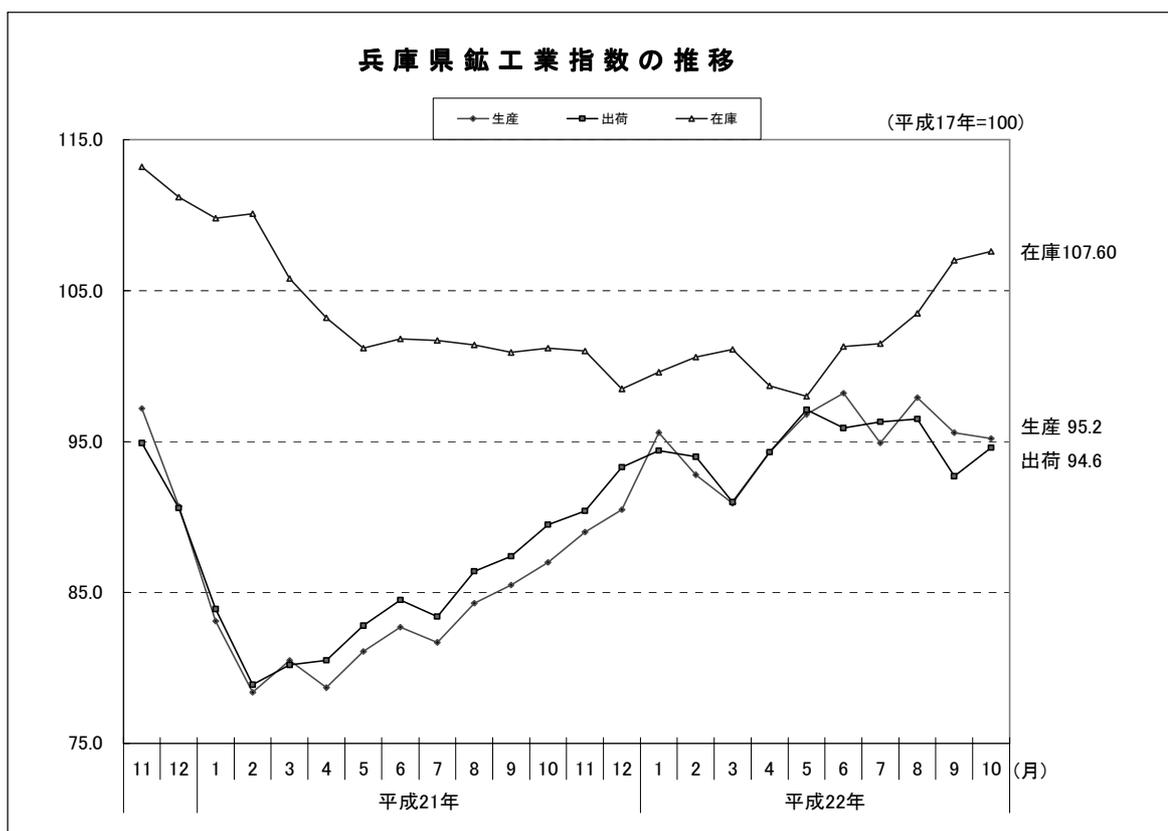
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、一般用タービン発電機等の「電気機械」が8.9%、船用ディーゼル機関等の「輸送機械」が4.8%、固定通信装置等の「情報通信機械」が4.0%各々上昇したものの、PDPモジュール等の「電子部品・デバイス」が11.3%、ガス温風暖房機等の「金属製品」が6.7%、めん類等の「食料品」が4.9%、普通鋼鋼帯等の「鉄鋼」が4.1%、蒸気タービン部品等の「一般機械」が4.1%、医薬品等の「化学」が0.1%各々低下した。

県統計課は、「兵庫県の生産活動は、弱含み傾向」としている。

10月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整済指数		原 指 数	
	対前月比増減(%)	対前年同月比増減(%)	対前月比増減(%)	対前年同月比増減(%)
生 産	95.2	0.4	93.6	7.3
出 荷	94.6	2.0	92.3	3.2
在 庫	107.6	0.6	107.6	6.3
在 庫 率	127.6	6.2	119.3	3.6

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



10月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業種	指数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄鋼	87.0	4.1	上昇	亜鉛めっき鋼板、銑鉄、普通鋼鋼管、鋳鋼品
			低下	普通鋼鋼帯、普通鋼冷延広幅帯鋼、粗鋼、普通鋼冷延電気鋼帯
金属製品	89.8	6.7	上昇	うす板ばね、ガス風呂がま、ガス湯沸器、PC鋼より線
			低下	ガス温風暖房機、超硬チップ、鋼管製管継手、鋼索
一般機械	91.5	4.1	上昇	反応用機器、混合機・かくはん機・粉碎機、ボイラ部品、液圧プレス
			低下	蒸気タービン部品、建設用クレーン、ショベル系掘削機械、一般用蒸気タービン
電気機械	123.0	8.9	上昇	一般用タービン発電機、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、電気がま、クッキングヒーター
			低下	電力変換装置、保護継電器、プログラマブルコントローラ、非標準三相誘導電動機
情報通信機械	96.0	4.0	上昇	固定通信装置、テレメータ・テレコントロール、カーオーディオ、搬送装置
			低下	カーナビゲーション、パーソナルコンピュータ、陸上移動通信装置(携帯電話以外)、プリンタ
電子部品デバイス	151.0	11.3	上昇	電界効果型トランジスタ、アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、シリコントランジスタ(1W未満)、シリコンダイオード
			低下	PDPモジュール、IGBT、モス型半導体集積回路(ロジック)、レーザダイオード
輸送機械	82.7	4.8	上昇	船用ディーゼル機関、鋼船、特装ボデー
			低下	駆動伝導・操縦装置部品、船用蒸気タービン、機関部品、旅客車
化学	91.6	0.1	上昇	無水酢酸、アクリル酸エステル、塩化ビニル樹脂、自動車排気ガス浄化用触媒
			低下	医薬品、溶剤系合成樹脂塗料、化粧品、塩化ビニル(モノマー)
食料品	96.5	4.9	上昇	パン類、清酒、即席めん、配合飼料
			低下	めん類、砂糖、しょうゆ、小麦粉

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた11月の県内百貨店売上高は193億18百万円、前年同月比0.2%の減少で、4か月連続で前年を下回った。前年に比べて日曜日が1日少なかったほか、冬物の衣料品が伸び悩んだことが響いた。11月に始まったお歳暮商戦はほとんどの店が前年並みを維持した。

神戸地区では化粧品などが好調だったが、大丸神戸店を除く4店で衣料品が前年比マイナス。「暖かい日が多く、コートが思うように売れなかった」とする店が多かった。

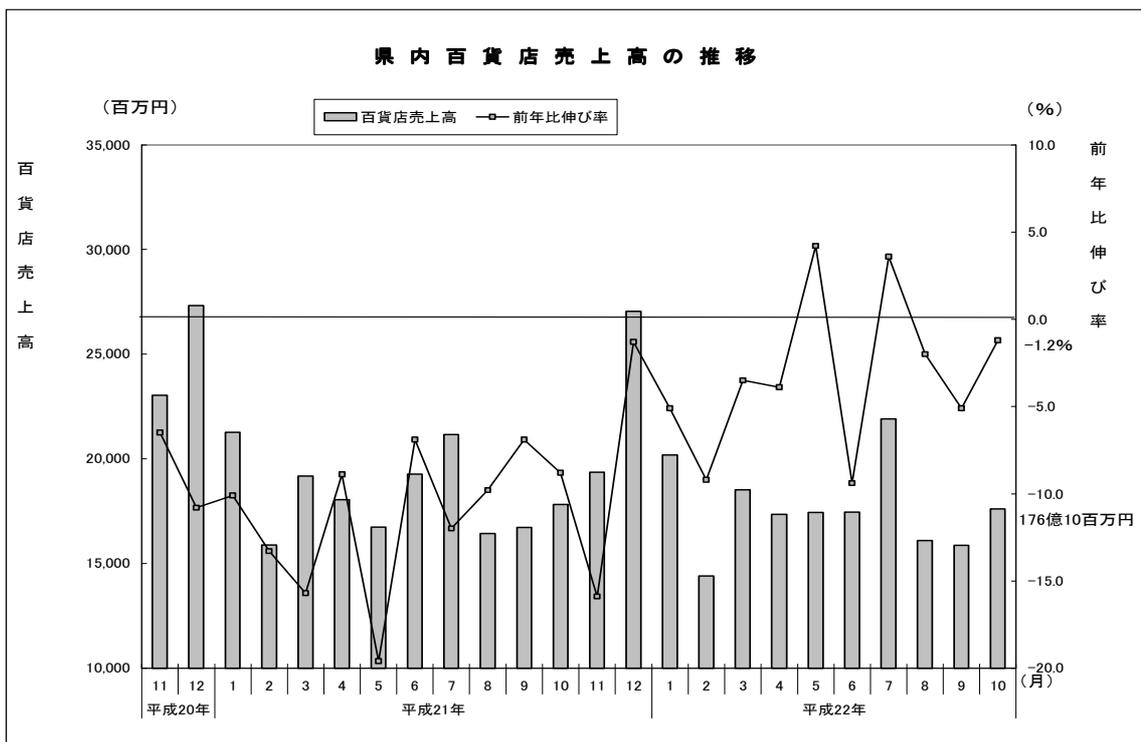
姫路・加古川地区ではミセス向け衣料品が順調だったヤマトヤシキ、山陽百貨店がともに婦人服が前年比プラスだった。山陽百貨店は「前年が悪かった反動もあるが、節約疲れした一部の消費者を中心に高価格の商品が売れるようになった」という。このほか項目別では、絵画などの美術品や宝石が全店で前年同期を上回った。常連顧客向けに半年に一度のバーゲンセールなどを行う店が多かったためだが、毛皮のコートが前年比6割増となったり、絵画がよく売れた店もあるなど、高額品に動きが出てきている。

11月の県内百貨店売上高

品目 \ 地区	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	1,108(7.5)	245(9.4)	1,353(4.0)
婦人服・洋品	4,523(1.2)	848(1.9)	5,371(0.8)
子供服・洋品	500(5.1)	93(5.3)	593(5.2)
身の回り品	1,643(1.7)	274(7.2)	1,918(2.5)
家庭用品	651(0.6)	171(2.0)	822(0.1)
食料品	4,516(0.7)	935(1.7)	5,452(0.9)
雑貨	2,309(0.5)	466(0.9)	2,776(0.6)
その他	743(0.0)	286(11.9)	1,026(3.4)
計	15,996(0.0)	3,322(1.5)	19,318(0.2)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月比伸び率% 資料：兵庫県百貨店協会

* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内11月の乗用車新車登録台数は10,036台、前年同月比31.3%減と3か月連続で前年同月の実績を下回った。エコカー補助金終了の影響によるもの。

11月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は3,846台(前年同月比25.0%減)、小型乗用車は3,522台(同42.6%減)、軽乗用車は2,668台(同20.5%減)、乗用車合計で10,036台(同31.3%減)となった。

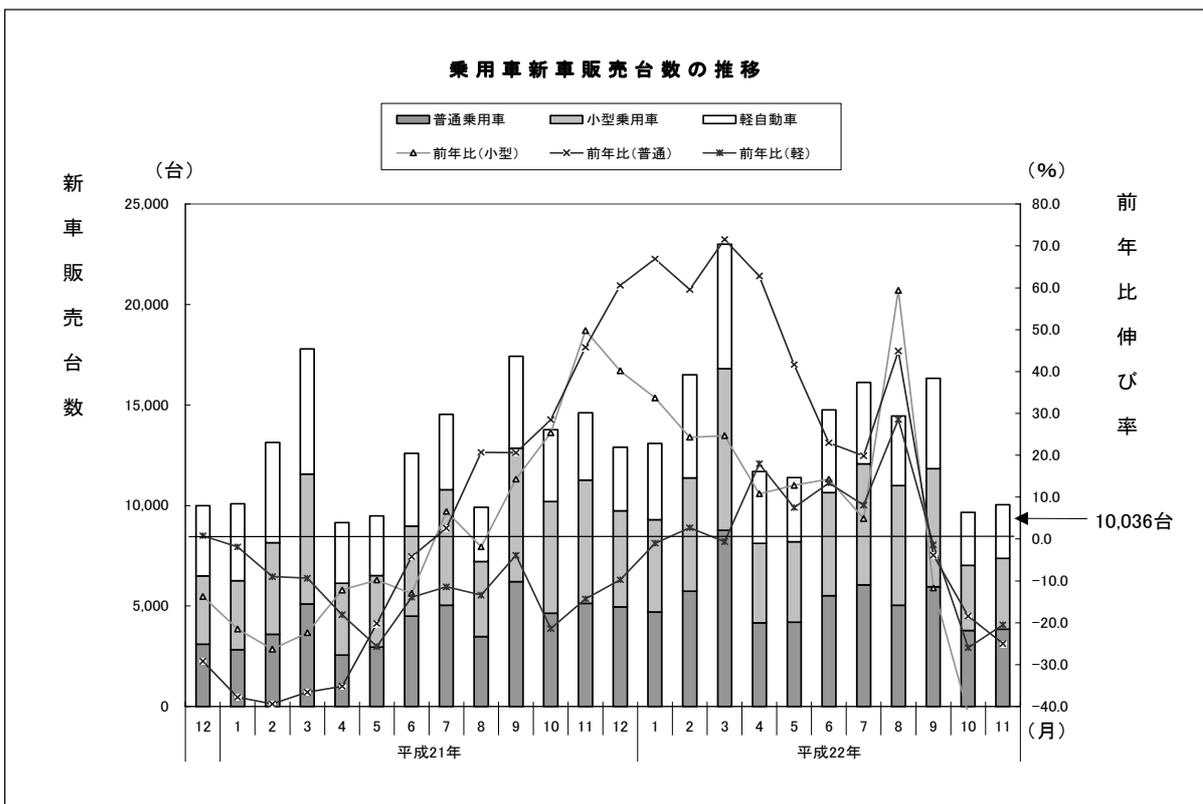
また貨物車等では、普通貨物車は253台(前年同月比5.0%増)、小型貨物車は521台(同6.5%減)、軽貨物車は1,573台(同9.8%減)、バスは32台(同11.1%減)となった。

11月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	3,846	25.0	88,290	25.1
小型乗用車	3,522	42.6	90,173	40.1
軽乗用車	2,668	20.5	80,268	19.9
乗用車合計	10,036	31.3	258,731	29.8
普通貨物車	253	5.0	8,261	10.7
小型貨物車	521	6.5	15,821	6.7
軽貨物車	1,573	9.8	40,080	6.5
貨物車合計	2,347	7.7	64,162	4.1
バス	32	34.6	701	20.8
登録車総計	12,415	27.8	323,594	25.9

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が12月8日に発表した機械受注統計によると、平成22年10月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、22年9月前月比9.2%減の後、10月は同6.2%増の2兆1,364億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、9月前月比10.3%減の後、10月は同1.4%減の7,457億円となった。

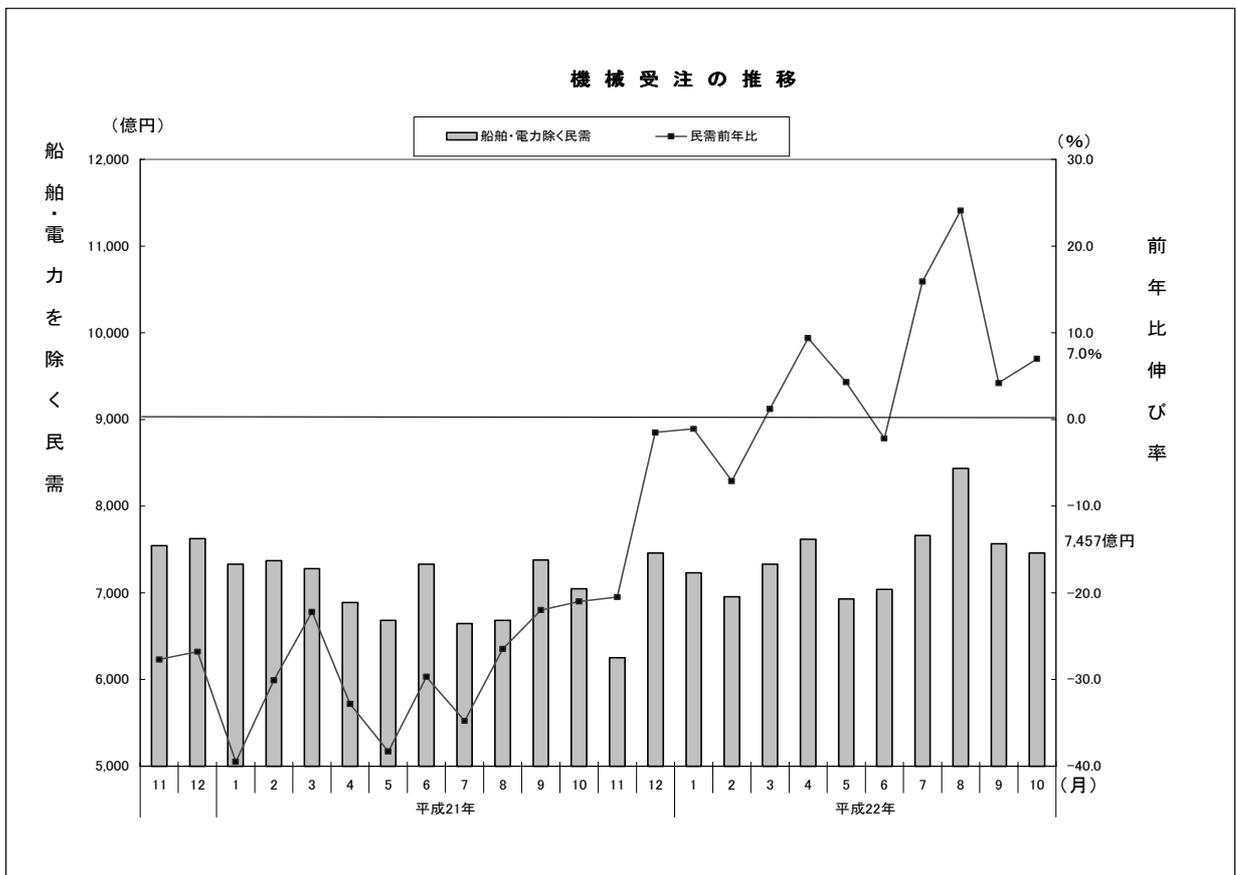
内訳をみると、製造業が同1.4%増の2,803億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同8.7%減の4,616億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、石油製品・石炭製品(268.1%増)、非鉄金属(110.4%増)、窯業・土石製品(65.2%増)、電気機械(53.9%増)、繊維・衣服製造業(11.7%増)等の8業種で、その他輸送用機械(32.8%減)、金属製品(25.0%減)、鉄鋼業(21.0%減)、化学工業(18.2%減)、パルプ・紙・紙加工品(17.8%減)等の9業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、鉱業(230.3%増)、運輸業(41.5%増)、電力業(22.2%増)、卸売・小売業(17.7%増)等の5業種で、情報サービス業(25.8%減)、農林漁業(25.8%減)、建設業(23.4%減)、金融・保険業(13.6%減)等の6業種は減少となった。

兵庫県下においては、2010年度設備投資額は、製造業がほぼ横ばいを見込んでいるほか、非製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

*全国企業短期経済観測調査(短観)結果。2010年12月 兵庫県
設備投資計画：全産業前年度比+2.3%(製造業+1.0%、非製造業+9.1%)



機械受注統計（平成22年10月分）

	21年 10~12月 実績	22年 1~3月 実績	4~6月 実績	7~9月 実績	10~12月 見通し	22年 7月 実績	8月 実績	9月 実績	10月 実績
受注総額	53,425 (8.0) [-5.8]	58,247 (9.0) [17.4]	55,988 (-3.9) [23.7]	62,207 (11.1) [24.8]	60,965 (-2.0) [16.0]	20,104 (5.7) [23.4]	22,070 (9.8) [38.4]	20,033 (-9.2) [16.6]	21,364 (6.6) [22.9]
民 需	25,095 (0.6) [-10.1]	25,854 (3.0) [0.2]	24,955 (-3.5) [-2.0]	29,212 (17.1) [15.3]	25,867 (-11.5) [8.6]	9,070 (7.7) [15.9]	11,304 (24.6) [32.2]	8,838 (-21.8) [4.4]	8,761 (-0.9) [5.4]
〃 (Ex 船・電)	20,904 (1.1) [-14.0]	21,514 (2.9) [-1.8]	21,589 (0.3) [3.3]	23,662 (9.6) [13.0]	21,354 (-9.8) [7.5]	7,663 (8.8) [15.9]	8,435 (10.1) [24.1]	7,565 (-10.3) [4.2]	7,457 (-1.4) [7.0]
製造業	7,994 (16.8) [-17.3]	9,129 (14.2) [29.2]	8,342 (-8.6) [13.2]	9,357 (12.2) [34.3]	9,192 (-1.8) [17.1]	3,101 (10.1) [39.8]	3,490 (12.5) [50.8]	2,766 (-20.7) [19.6]	2,803 (1.4) [4.2]
非製造業 (Ex 船・電)	12,956 (-7.9) [-10.8]	12,471 (-3.7) [-15.0]	13,192 (5.8) [-2.4]	14,499 (9.9) [2.3]	12,301 (-15.2) [0.4]	4,532 (8.1) [3.5]	4,909 (8.3) [10.1]	5,058 (3.0) [-3.3]	4,616 (-8.7) [6.2]
官 公 需	6,683 (-17.0) [-0.8]	6,861 (2.7) [-1.9]	6,845 (-0.2) [-4.8]	7,146 (4.4) [-10.1]	7,096 (-0.7) [20.3]	2,351 (-1.3) [-19.2]	2,589 (10.1) [-4.5]	2,207 (-14.7) [-8.3]	2,421 (9.7) [13.4]
外 需	19,635 (26.7) [-0.9]	22,275 (13.4) [72.2]	22,806 (2.4) [94.2]	23,919 (4.9) [54.1]	26,141 (9.3) [25.8]	7,995 (2.6) [50.2]	7,697 (-3.7) [68.9]	8,227 (6.9) [47.5]	9,544 (16.0) [51.5]
代 理 店	2,183 (9.0) [-13.0]	2,356 (7.9) [12.6]	2,408 (2.2) [32.4]	2,457 (2.0) [22.1]	2,555 (4.0) [17.1]	781 (-1.8) [21.0]	912 (16.8) [35.8]	763 (-16.4) [11.3]	724 (-5.1) [2.8]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内10月の新設住宅着工戸数は、総数で2,372戸(前年同月比17.9%減)となり、持家、分譲住宅、貸家とも減少し、全体では4か月ぶりに前年を下回った。また、前月比では464戸の減少となった。

10月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	994	2.4	27,842	10.4
・分譲住宅	710	25.1	17,894	37.1
貸家系・貸家	654	28.5	25,140	9.0
・給与住宅	14	100.0	514	57.4
総数	2,372	17.9	71,390	6.4

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

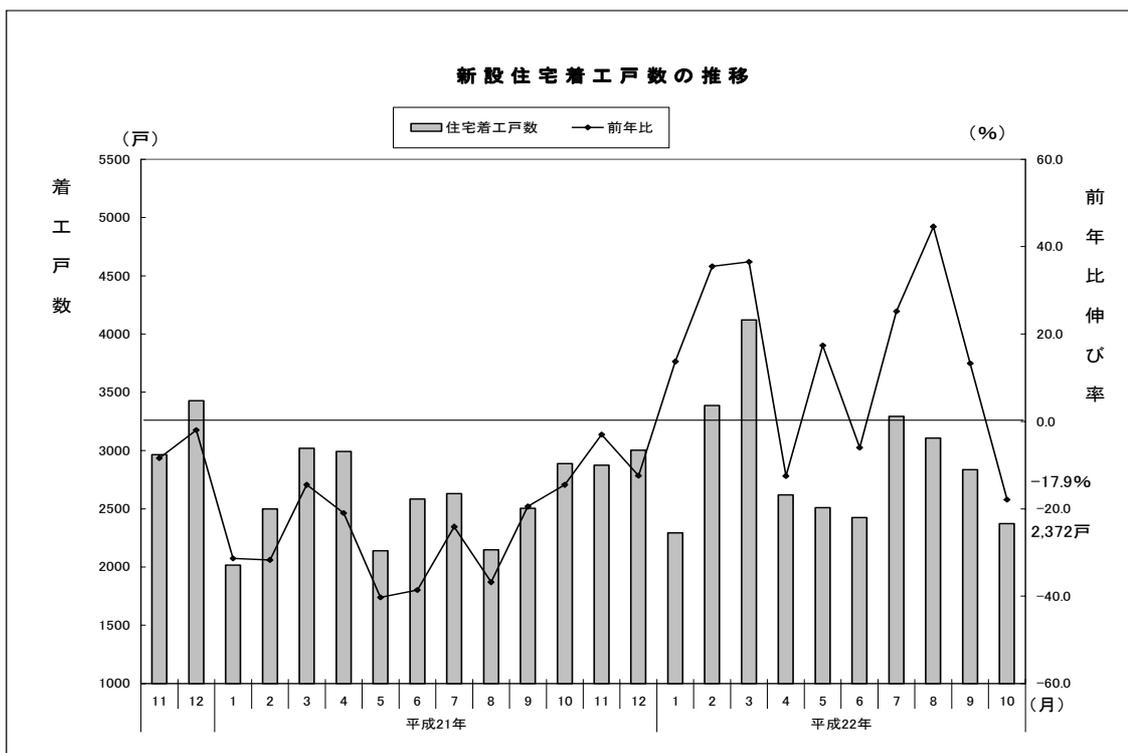
10月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	643	358	251	382	132	353	125	58	20	50	2,372
前月比	+48	-464	-102	-38	+52	+63	-37	+21	-1	-6	-464

資料：兵庫県住宅計画課

平成22年4月～10月の新設住宅着工累計は、総数で19,163戸、前年同期比1,281戸の増加となった。利用関係別では「持家」が6,613戸(前年同期比5.1%増)、「分譲住宅」が5,599戸(同11.6%増)、「貸家」が6,666戸(同11.7%増)、「給与住宅」が285戸(同52.7%減)となった。



【公共工事】

11月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況で見ると、件数は610件で前年同月比17.5%の増加、請負金額は253億69百万円で同22.8%の増加となり、金額ベースで3か月ぶりに前年同月を上回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「国」が前年同月比59.2%、「独立行政法人等」同36.2%の減少となったものの、「その他の団体」同180.7%、「神戸市」同146.2%、「兵庫県」同20.6%、「神戸市を除く市町」同3.2%の増加となり、前年同月を上回った。

地域別(金額ベース)では、淡路(前年同月比127.6%増)神戸市(同96.9%増)、丹波(同82.8%増)中播磨(同35.8%増)西播磨(同29.4%増)で増加となったが、但馬(同42.4%減)東播磨(同28.6%減)北播磨(同19.5%減)等では減少となった。

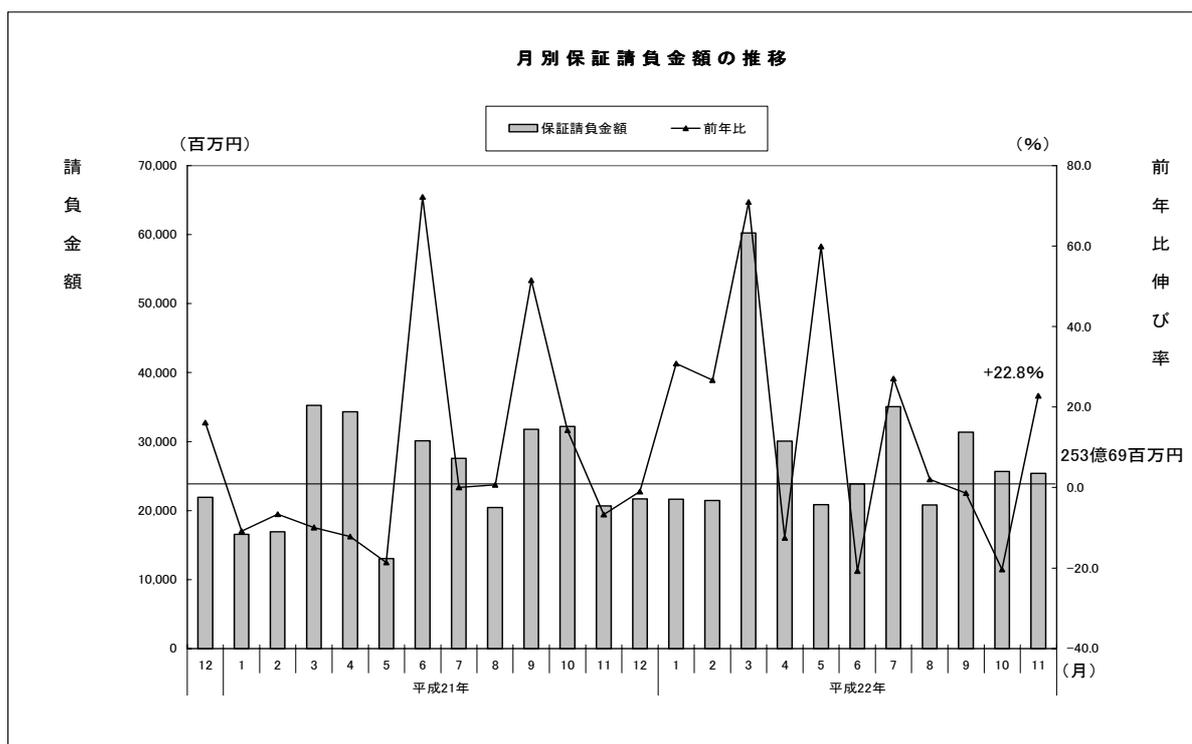
請負金額を平成22年度(22年4月～11月)の累計で見ると、2,130億1百万円となり、前年同期比1.4%の増加となった。

11月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細
国	24(0.0)	982(59.2)	
独立行政法人等	12(7.7)	579(36.2)	
兵庫県	249(26.4)	10,026(20.6)	加古川小野線東播磨南北道路A Bランプ合流部橋上部工事、県立淡路病院建築工事
神戸市	60(1.7)	4,269(146.2)	要玄寺川放水路築造工事、港島トンネル延伸工事、学園都市・西神中央ATC地上装置更新工事
神戸市を除く市町	241(17.6)	6,375(3.2)	尼崎市園田東中学校改築工事
その他の団体	24(14.3)	3,136(180.7)	神戸海岸特養ケアセンター建設工事
合計	610(17.5)	25,369(22.8)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成22年10月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,375億円、前年同月比9.1%の増加で、総額ベース10か月連続の増加となった。輸出は、鉄道用車両などが減少したものの、原動機、建設用・鉱山用機械などが増加した。一方輸入は、非鉄金属などが増加したものの、たばこ、衣類及び同付属品などが減少した。特にたばこは、先月まで増税前の買いため需要の反動による減少が大きかった。

輸出は4,605億円(前年同月比17.8%増加)と10か月連続で前年を上回った。

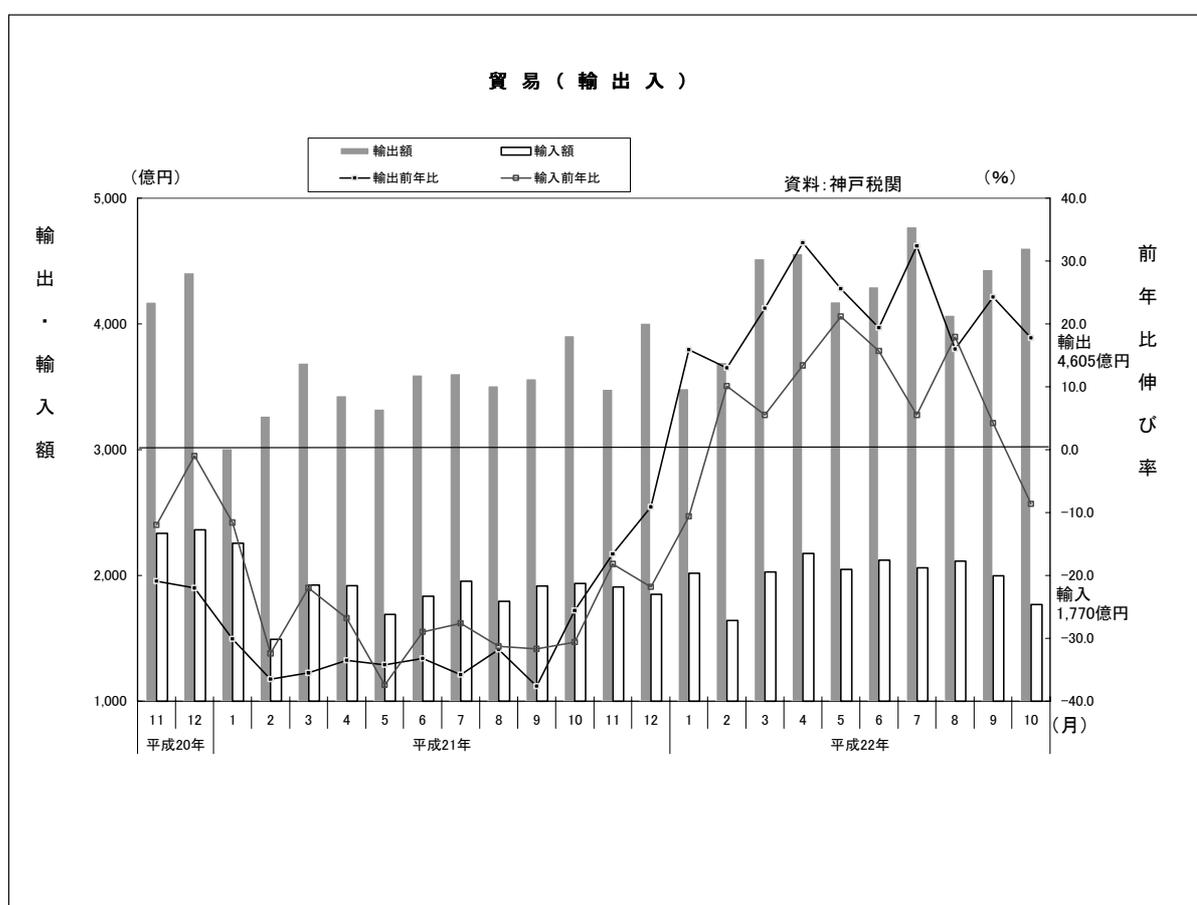
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(同3.0%減、4か月ぶりにマイナス)、プラスチック(同2.5%減、12か月ぶりにマイナス)が減少したものの、原動機(同73.7%増、4か月連続プラス)、建設用・鉱山用機械(同78.8%増、10か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同20.6%増、11か月連続プラス)、中国(同26.2%増、11か月連続プラス)、米国(同29.8%増、10か月連続プラス)、EU(同19.9%増、4か月連続プラス)向けが各々増加した。

輸入は1,770億円(前年同月比8.6%減少)と9か月ぶりに前年を下回った。

主要品目では、非鉄金属(同39.3%増、9か月連続プラス)、有機化合物(同8.2%増、9か月連続プラス)が増加したものの、衣類及び同付属品(同24.5%減、4か月連続マイナス)、たばこ(同65.1%減、4か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、アジア(同3.8%減、9か月ぶりにマイナス)、中国(同7.3%減、2か月連続マイナス)、米国(同14.0%減、8か月ぶりにマイナス)、EU(同17.2%減、2か月連続マイナス)向けが各々減少した。



【物 価】『消費者物価』

11月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.4(平成17年=100)となり、前月比は0.3%下落し、前年同月比は1.3%上昇した。生鮮食品を除く総合指数は99.4となり、前月比は0.1%下落し、前年同月比は0.1%上昇した。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は98.2となり、前月比は0.1%下落し、前年同月比は0.4%上昇した。

前月からの動きを見ると、家庭用耐久財などの値上がりにより「家具・家事用品」が0.8%設備修繕・維持の値上がりにより「住居」が0.1%上昇した。しかしながら、野菜・海藻などの値下がりにより「食料」が0.5%、教養娯楽サービスなどの値下がりにより「教養娯楽」が1.0%下落した結果、総合指数では0.3%下落した。

11月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱水道	家具家事用品	被服及履物	保健医療	交通通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合
指数	100.4	104.4	99.3	103.0	90.1	100.3	98.3	98.4	98.0	94.4	106.3	99.4	98.2
前月比	-0.3	-0.5	0.1	-0.4	0.8	-0.1	0.1	-0.2	0.0	-1.0	0.2	-0.1	-0.1
前年同月比	1.3	3.2	0.8	2.5	-2.1	-0.5	-0.2	0.0	-3.9	0.2	6.5	0.1	0.4

(注)平成17年=100

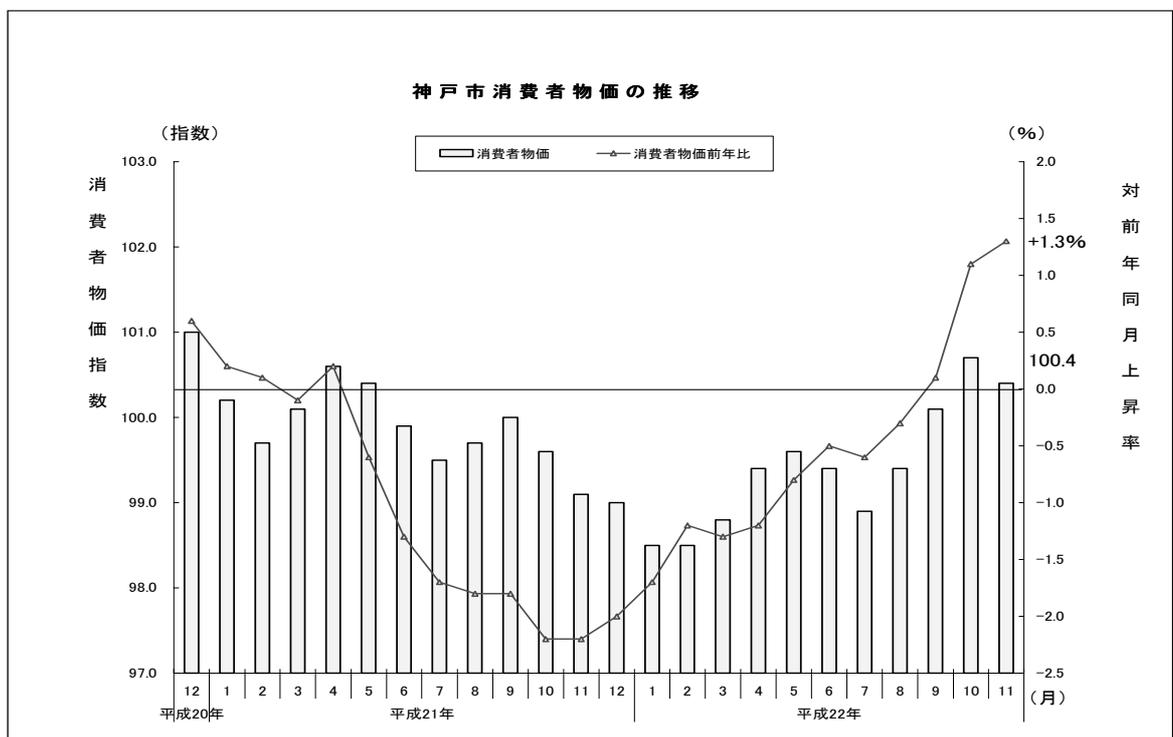
資料：兵庫県統計課

○対前月比値上がりした主な品目

- 家庭用耐久財 (+ 1.9%)・・・電気冷蔵庫、電気ポット
- 設備修繕・維持 (+ 0.2%)・・・温水洗浄便座

対前月比値下がりした主な品目

- 野菜・海藻 (4.6%)・・・ねぎ、ほうれんそう
- 教養娯楽サービス (0.8%)・・・外国パック旅行、宿泊料



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が12月10日に発表した、企業物価指数(速報)による2010年11月の実績は次のとおり。

11月の企業物価指数

(速報、2005年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	103.0	0.1	0.9
輸出物価	84.4	1.2	3.1
輸入物価	104.6	2.5	3.9

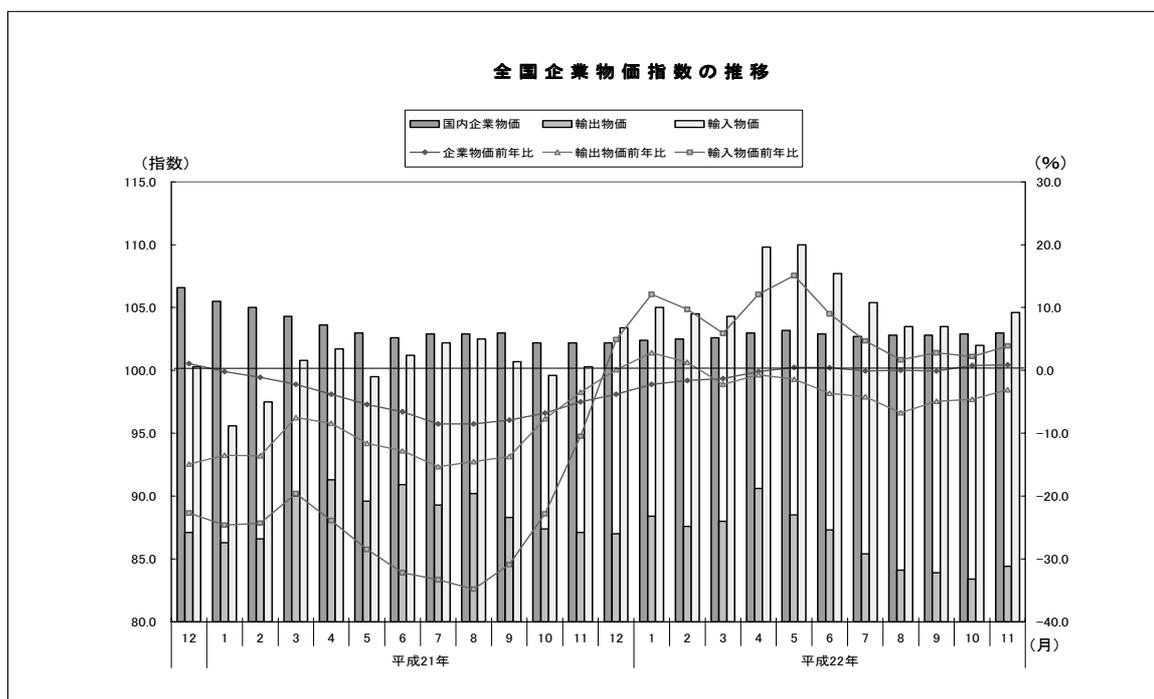
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、非鉄金属(前月比+1.5% <銅地金、銀地金など>)、スクラップ類(同+1.4% <鉄くずなど>)、農林水産物(同+1.3% <牛肉、鶏肉、鶏卵、豚肉など>)、繊維製品(同+0.4% <錦糸、綿織物など>)等が上昇、電力・都市ガス・水道(同-0.8% <特別高圧電力、業務用高圧電力など>)、鉄鋼(同-0.3% <熱延広幅帯鋼、小型棒鋼など>)、電気機器(同-0.2% <X線装置、ルームエアコンなど>)、加工食品(同-0.2% <米菓、すし・弁当など>)等が下落し、全体では前月比0.1%の上昇となった。

前年同月比では、資源価格の上昇を受けて石油・石炭製品や非鉄金属などの価格が上がったほか、10月にたばこ税を引き上げた影響が引続き残っており、08年12月以来、1年11カ月ぶりの高い伸び率となった。

輸出物価は、化学製品(前月比+3.4% <パラキシレン、塩化ビニルモノマーなど>)、輸送用機器(同+1.8% <自動車部品、普通乗用車など>)、金属・同製品(前月比+1.8% <金地金、銅地金など>)、その他産品・製品(同+1.2% <自動車タイヤ、石炭コークスなど>)等が上昇し、円ベースでは前月比1.2%の上昇(前年同月比-3.1%)となった。

輸入物価は、石油・石炭・天然ガス(前月比+4.9% <原油、液化石油ガスなど>)、食料品・飼料(同+2.8% <パーム油、調製うなぎなど>)、繊維品(同+2.8% <綿織物、錦糸など>)、金属・同製品(同+2.1% <銅鉱、電線・ケーブルなど>)が上昇し、円ベースでは前月比2.5%の上昇(前年同月比+3.9%)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内10月の新規求人数(全数)は、25,603人(前年同月比7.6%増、前月比1.0%減)で、6か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は62,443人(前年同月比15.9%増、前月比1.8%増)で6か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比13.3%増で8か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同3.2%増で6か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同5.0%減で14か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比12.9%増)、製造業(同16.1%増)、情報通信業(同11.4%増)、運輸業、郵便業(同49.6%増)、卸売業、小売業(同7.4%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同28.6%増)、宿泊業、飲食サービス業(同22.0%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同22.8%増)、教育、学習支援業(同16.1%増)、医療、福祉(同22.1%増)は前年を上回ったが、サービス業(同2.1%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

10月の新規求職申込件数(全数)は、25,751件(前年同月比7.4%減、前月比4.0%減)で、2か月ぶりに前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は110,260人(前年同月比6.3%減、前月比2.1%減)で5か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比9.6%減で7か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同0.8%減で2か月ぶりに前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比15.3%減で2か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、無業者は前年同月比20.3%増で17か月連続して前年を上回ったが、在職者は同0.1%減で8か月ぶりに、自営・他は同9.0%減で5か月ぶりに、事業主都合離職者は同23.0%減で10か月連続して、自己都合離職者は同8.9%減で5か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、28,739人(前年同月比18.8%減)で、8か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

10月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が0.85倍で前月を下回り、有効求人倍率については0.53倍で前月と同水準となった。

(4) 失業者の状況

10月の全国の完全失業率(季節調整値)は5.1%で前月より0.1ポイント上昇し、完全失業者数(原数値)は334万人(前年同月差10万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は6.1%(前年同月と同水準)で、完全失業者数(原数値)は63万人(前年同月と同数)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
22年10月	25,603	1,606	3,259	313	2,127	3,894	135	394	940	1,999	1,007	6,014	2,883
前年同月比	7.6	12.9	16.1	11.4	49.6	7.4	-66.4	0.8	28.6	22.0	22.8	22.1	-2.1

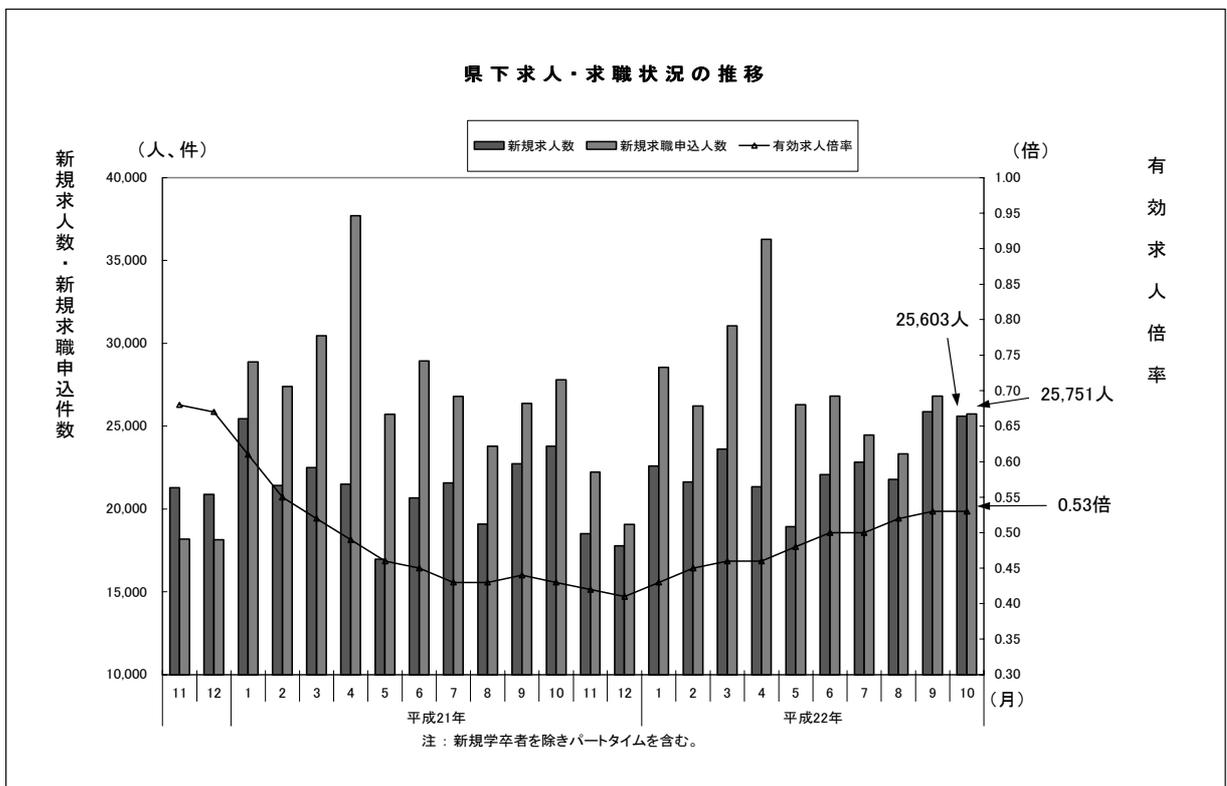
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	09/10-12	10/1-3	10/4-6	10/7-9	10/08	10/09	10/10
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.42	0.45	0.48	0.52	0.52	0.53	0.53
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	16.0	2.2	5.4	11.2	14.2	13.8	7.6
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	6.0	5.6	13.2	14.7	14.3	13.7	14.6
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	0.6	0.5	1.1	1.2	1.4	1.3	0.8
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	5.0	0.7	0.7	0.0	0.6	0.5	1.4

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



【信用保証】

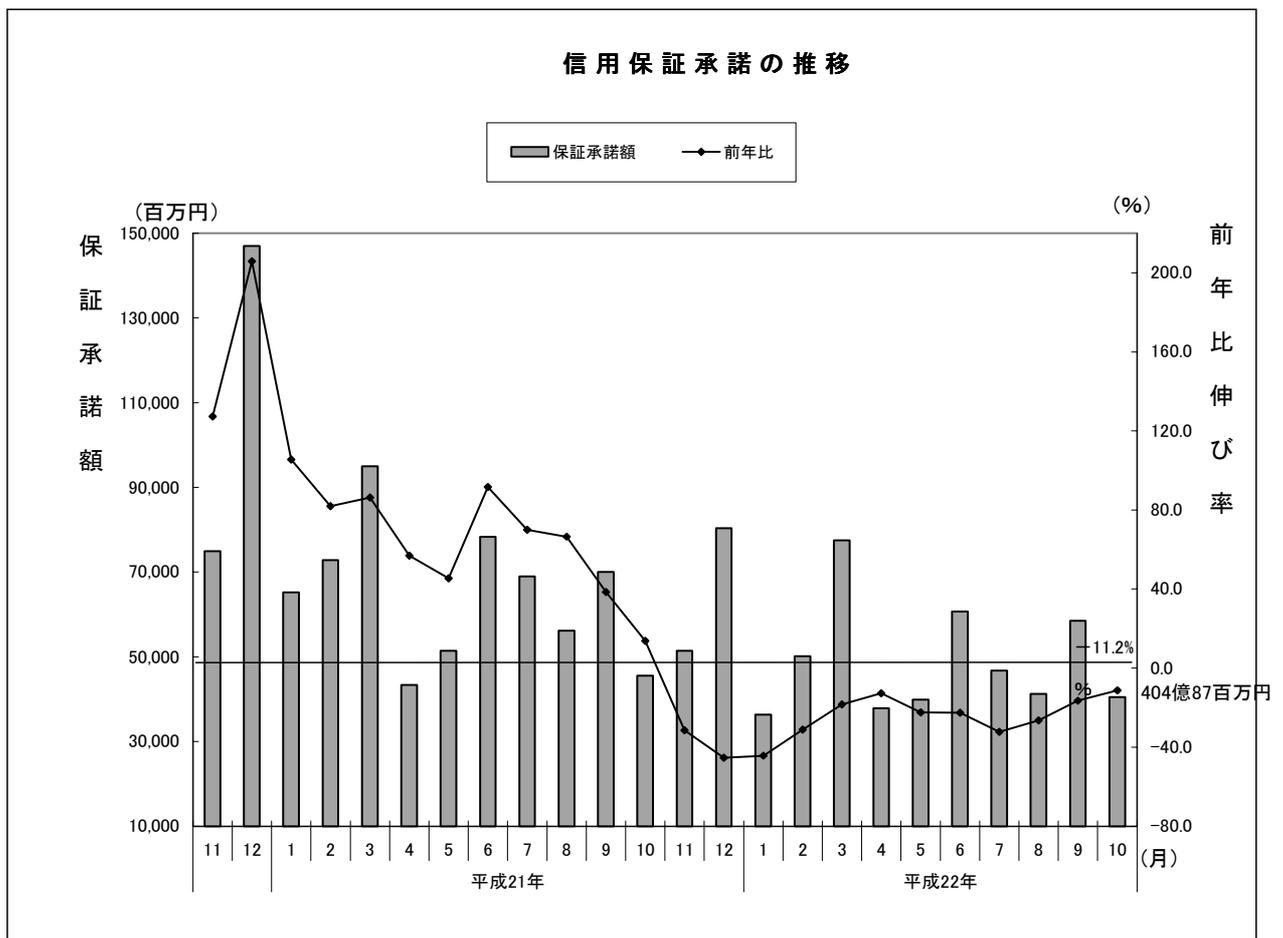
兵庫県信用保証協会による10月の保証承諾実績は、件数で2,369件(前年同月比15.0%減)、金額は404億87百万円(同12.2%減)となり、12か月連続で前年実績を下回った。

平成20年10月末導入の緊急保証制度の承諾が高水準で推移していた反動で、件数、金額とも連続減となった。

業種別(金額ベース)では、「不動産業」1,604百万円(前年同月比6.7%増)、「卸売業」8,645百万円(同6.1%増)、「運送・倉庫業」2,037百万円(同1.9%増)で前年同月を上回り、「小売業」4,974百万円(同10.2%減)、「建設業」10,221百万円(同15.1%減)、「サービス業」4,129百万円(同15.4%減)、「製造業」7,850百万円(同21.7%減)、「飲食店」926百万円(同32.2%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、233件(前年同月比39.0%減)、31億27百万円(同21.7%減)となった。

10月末の保証債務残高は、118,004件(前年同月比3.2%減)、1兆4,622億60百万円(同0.1%増)となった。



【金 融】

10月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り(単位：億円、前年同月比増減・%)。

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	136,242	1.6	57,405	0.9
地方銀行	23,051	0.3	18,772	1.0
第二地方銀行	29,908	0.7	20,007	1.7
信用金庫	77,398	2.2	38,510	1.9
その他	16,049	2.4	16,712	0.4
計	282,648	1.6	151,406	1.1

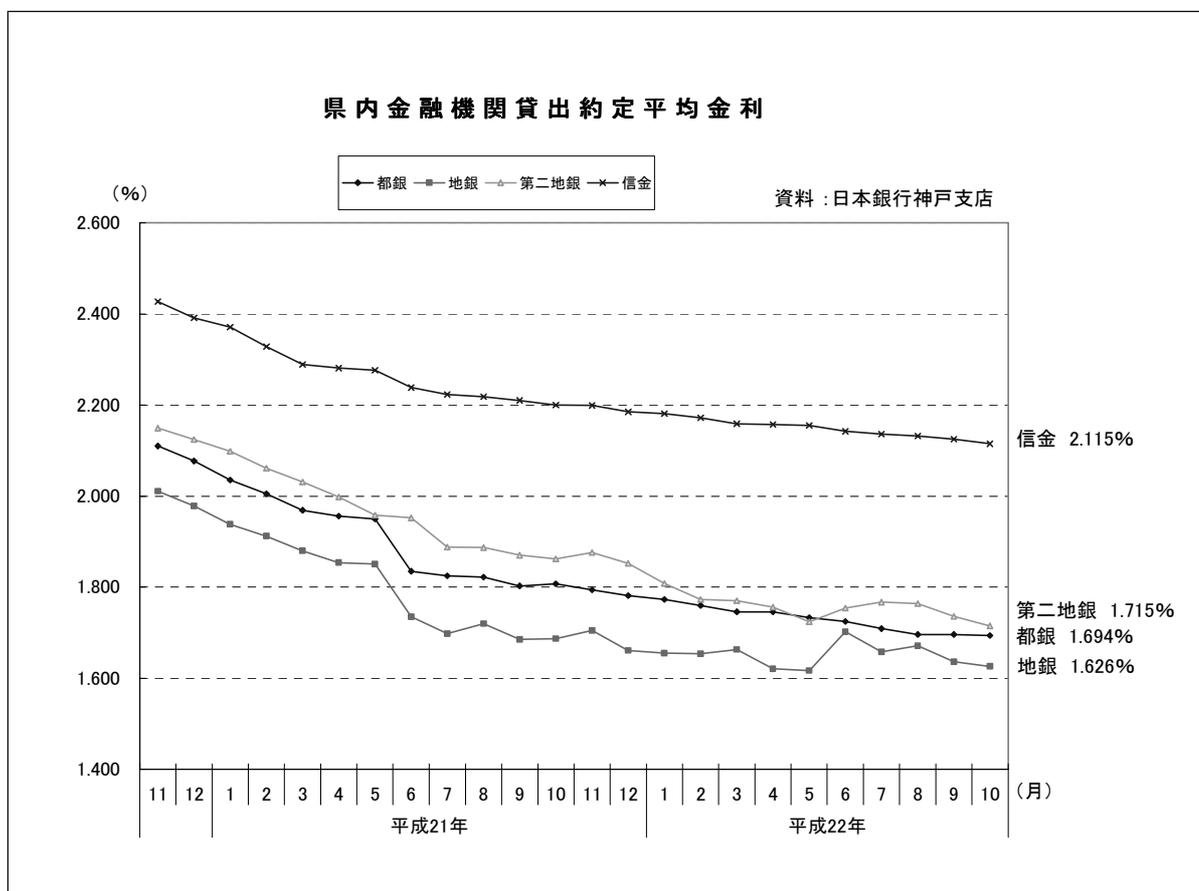
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

10月の預金は、前年を上回って推移している。

10月の貸出は、前年を下回って推移している。

10月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(10月末水準 1.836%、前月比 0.009%ポイント)。



【倒 産】

県内 11 月の企業倒産(負債総額 1 千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は 73 件で前年同月比 30.3%増加、負債総額は 229 億 68 百万円で同 74.7%の増加となった。倒産件数は、前月比 1 件減少、前年同月比では 17 件の増加となり、前年の月間平均件数 62.6 件より 10.4 件と大幅に増加した。負債額 1 億円未満の小口倒産は 49 件で全体の 67.1%を占めている。

原因別(件数)では、販売不振が 59 件(全体の 80.8%)と前月比 6 件の減少となったが、当月もトップ。2 番目は放漫経営 6 件と続いている。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等「不況型」倒産は 60 件と依然高い割合を占めている。

業種別(件数)では、建設業が 21 件(全体の 28.8%)と最も多く、2 番目は食品業が 16 件、次いで不動産・サービス他業 11 件、金属・機械・電気業 9 件と続いている。

兵庫県下の 11 月の企業倒産件数(負債総額 1 千万円以上)は 73 件で、今年最多を記録した前月からは 1 件の減少に留まり、2 か月連続の高水準となった。

日本銀行神戸支店が 12 月 15 日に発表した「管内金融経済概況」によると、「管内の景気は、持ち直しを続けているが、そのペースは一段と鈍化している」と前月発表から下方修正した。

「資本金別」では、「個人企業」の倒産が 32 件と前月比 6 件の減少ながら引続きトップとなり、依然として高い水準にある。「原因別」では、販売不振を中心とする「不況型倒産」が 60 件と前月比 7 件の減少となったものの、構成比は 82.19%と依然高い割合を占めた。「産業別」では、「建設業」と並んで「サービス・他業」が共に 21 件とトップを占めた。上場企業の今期 9 月中間決算では増収増益企業が多く見られるが、その回復の余波は中小・零細企業までには未だ充分には及んではおらず、「円高関連」「不安定な雇用・所得」など先行きマイナス要因を挙げ易いのが実情。この中で 2 か月連続となる倒産件数 70 件台を記録し、資金需要が高まる年末、さらには年度末にかけ「小規模倒産」を中心に高水準で推移する可能性も考えられ、引続き十分な注視が必要と言える。

11 月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額 1,000 万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	6	5	1	4	2	金属・機械・電気	9	7	2	4	5
過小資本	3	0	3	3	0	化学・薬品	0	0	0	0	0
連鎖倒産	3	1	2	1	2	ゴム・皮革・ケミカル	4	2	2	1	3
赤字累積	1	2	-1	9	-8	食品	16	11	5	7	9
販売不振	59	65	-6	37	22	建設	21	20	1	23	-2
売掛金回収難	0	0	0	0	0	不動産・サービス	11	15	-4	10	1
その他	1	1	0	2	-1	運輸・通信他	12	19	-7	11	1
合計	73	74	-1	56	17	合計	73	74	-1	56	17

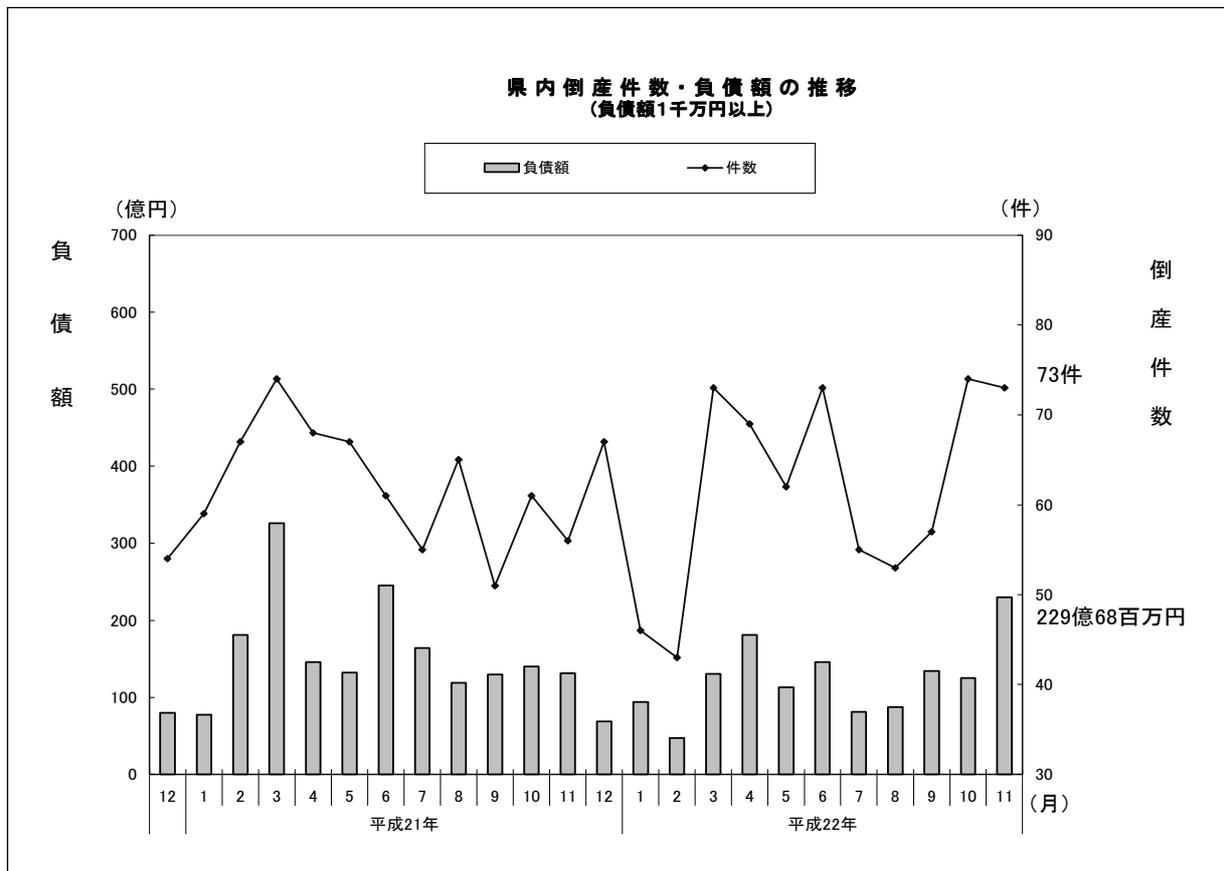
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
17年 平均	54.1	17.5	15.9	8.5	8.8	1.8	0.8	0.8
18年 平均	50.4	16.0	16.2	5.8	8.3	1.7	1.3	1.1
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 1月	46	11	17	8	6	2	0	2
2月	43	17	12	4	8	0	1	1
3月	73	24	25	11	6	3	0	4
4月	69	21	28	11	8	0	0	1
5月	62	22	18	14	3	2	1	2
6月	73	26	25	14	4	1	1	2
7月	55	12	21	10	8	1	2	1
8月	53	20	14	6	9	1	2	1
9月	57	22	17	6	8	3	0	1
10月	74	28	28	8	6	1	1	2
11月	73	29	22	7	12	3	0	0

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比
		%	%		(億円)	%	%	(戸)	%	%
21年 1月	83.1	-9.4	76.0	-10.0	166	-10.8	1.9	2,015	-31.4	-18.7
2月	78.4	-6.2	68.7	-9.4	169	-6.6	-2.8	2,500	-31.7	-24.9
3月	80.5	2.0	70.6	1.6	352	-9.9	15.3	3,019	-14.5	-20.7
4月	78.7	0.4	74.3	5.2	343	-12.2	20.5	2,991	-21.0	-32.4
5月	79.9	1.4	79.2	5.9	130	-18.6	2.5	2,139	-40.3	-30.8
6月	84.1	5.5	81.0	2.4	301	72.2	12.7	2,582	-38.6	-32.4
7月	81.9	2.5	82.4	1.9	276	0.0	2.5	2,631	-24.1	-32.1
8月	84.3	1.9	84.1	1.8	204	0.7	8.7	2,149	-36.8	-38.3
9月	85.5	3.2	85.1	1.4	318	51.5	22.1	2,502	-19.5	-37.0
10月	87.0	2.1	86.1	0.5	322	14.2	8.3	2,888	-14.5	-27.1
11月	89.0	3.3	88.3	2.6	207	-6.7	0.0	2,873	-3.0	-19.1
12月	90.5	0.9	89.9	2.2	217	-1.0	10.3	3,001	-12.4	-15.7
22年 1月	95.6	1.7	91.9	2.5	217	30.8	-3.8	2,291	13.7	-8.1
2月	92.8	-1.3	93.7	-0.6	215	26.7	-8.8	3,387	35.5	-9.3
3月	90.9	-2.1	94.0	0.3	602	70.9	-16.0	4,120	36.5	-2.4
4月	94.3	3.8	96.0	1.3	300	-12.5	-0.1	2,618	-12.5	0.6
5月	96.8	2.4	95.9	-0.1	209	59.9	-5.9	2,511	17.4	-4.6
6月	98.2	1.5	95.0	-1.1	239	-20.7	-5.8	2,426	-6.0	0.6
7月	94.9	-3.6	94.8	-0.2	350	27.1	-8.8	3,293	25.2	4.3
8月	97.9	4.2	94.3	-0.5	208	2.0	-8.4	3,107	44.6	20.5
9月	r 95.6	-2.3	92.8	-1.6	314	-1.4	-18.8	2,836	13.3	17.7
10月	p 95.2	-0.4	90.9	-2.0	257	-20.3	-18.1	2,372	-17.9	6.4
11月					254	22.8	-6.3			
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
	(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
21年 1月	10,082	-21.3	-20.0	213	-10.1	-9.2	3,009	-30.1	2,256	-11.6
2月	13,129	-25.3	-24.4	159	-13.3	-11.4	3,269	-36.5	1,491	-32.4
3月	17,786	-23.5	-24.5	192	-15.7	-12.9	3,689	-35.5	1,923	-22.0
4月	9,162	-21.8	-22.8	180	-8.9	-11.3	3,432	-33.5	1,918	-26.8
5月	9,482	-18.6	-17.4	167	-19.6	-12.7	3,326	-34.2	1,689	-37.4
6月	12,600	-10.3	-12.2	193	-6.9	-8.9	3,597	-33.2	1,834	-29.0
7月	14,538	0.0	-2.8	212	-12.0	-11.8	3,606	-35.8	1,953	-27.6
8月	9,906	1.1	3.2	164	-9.8	-8.9	3,509	-31.8	1,793	-31.3
9月	17,427	10.8	4.2	167	-6.9	-7.8	3,566	-37.6	1,916	-31.7
10月	13,934	10.6	7.8	178	-8.8	-10.6	3,908	-25.6	1,936	-30.6
11月	14,618	26.8	24.7	194	-15.9	-11.8	3,483	-16.6	1,909	-18.2
12月	12,899	29.1	27.3	271	-1.3	-5.1	4,008	-9.1	1,850	-21.8
22年 1月	13,089	29.8	24.9	202	-5.1	-5.7	3,487	15.9	2,016	-10.6
2月	16,509	25.7	21.9	144	-9.2	-5.3	3,696	13.0	1,642	10.1
3月	23,000	29.3	25.2	185	-3.5	-3.6	4,520	22.5	2,029	5.5
4月	11,698	27.7	26.4	173	-3.9	-3.7	4,561	32.9	2,176	13.4
5月	11,392	20.1	23.0	174	4.2	-2.1	4,179	25.6	2,047	21.2
6月	14,759	17.1	18.1	175	-9.4	-5.7	4,297	19.4	2,122	15.7
7月	16,129	10.9	12.9	219	3.6	-1.4	4,774	32.4	2,060	5.5
8月	14,456	45.9	40.1	161	-2.0	-3.0	4,072	16.0	2,115	17.9
9月	16,338	-6.2	-3.2	159	-5.1	-5.0	r 4,431	24.3	r 1,997	4.2
10月	9,670	-29.8	-25.9	176	-1.2	0.6	p 4,605	17.8	p 1,770	-8.6
11月	10,036	-31.3	-29.8	193	-0.2					
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (17年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (12年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
21年 1月	0.61	0.65	1,003	5.2	99.3	-3.2	100.2	0.2	100.7	0.0
2月	0.55	0.58	1,003	5.6	99.7	-5.2	99.7	0.1	100.4	-0.1
3月	0.52	0.53	996	4.8	98.0	-6.1	100.1	-0.1	100.7	-0.3
4月	0.49	0.48	1,009	4.3	98.3	-5.5	100.6	0.2	100.8	-0.1
5月	0.46	0.46	1,014	4.8	96.8	-4.9	100.4	-0.6	100.6	-1.1
6月	0.46	0.45	1,012	4.8	97.4	-4.9	99.9	-1.3	100.4	-1.8
7月	0.43	0.43	1,008	4.3	97.5	-5.0	99.5	-1.7	100.1	-0.3
8月	0.43	0.42	1,007	4.2	97.1	-4.1	99.7	-1.8	100.4	-2.2
9月	0.44	0.43	1,007	4.2	97.8	-4.1	100.0	-1.8	100.4	-2.2
10月	0.43	0.43	1,003	4.9	96.9	-4.9	99.6	-2.2	100.0	-2.5
11月	0.42	0.43	1,003	5.0	97.7	-3.1	99.1	-2.2	99.8	-1.9
12月	0.41	0.43	1,005	5.0	97.3	-3.9	99.0	-2.0	99.6	-1.7
22年 1月	0.43	0.46	999	-0.4	96.4	-2.9	98.5	-1.7	99.4	-1.3
2月	0.45	0.47	997	-0.6	96.7	-1.0	98.5	-1.2	99.3	-1.1
3月	0.46	0.49	993	-0.3	97.3	-0.7	98.8	-1.3	99.6	-1.1
4月	0.46	0.48	1,000	-0.9	98.1	-0.2	99.4	-1.2	99.6	-1.2
5月	0.48	0.50	1,003	-1.1	97.2	0.4	99.6	-0.8	99.7	-0.9
6月	0.50	0.52	1,002	-1.0	98.0	0.6	99.4	-0.5	99.7	-0.7
7月	0.50	0.53	1,004	-0.4	97.9	0.4	98.9	-0.6	99.2	-0.9
8月	0.52	0.54	1,002	-0.5	97.7	0.6	99.4	-0.3	99.5	-0.9
9月	0.53	0.55	1,003	-0.4	98.3	0.5	100.1	0.1	99.8	-0.6
10月	0.53	0.56	1,005	0.2	98.1	1.2	r 100.7	1.1	100.2	0.2
11月							p 100.4	1.3		
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (17年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	地域別倒産件数				
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %		件数	金額	神戸	阪神	播磨他
21年 1月	105.5	-0.2	152,735	-1.0	1.824	59	78	18	18	23
2月	105.0	-1.1	152,526	-0.8	1.795	67	181	20	26	21
3月	104.3	-2.2	155,403	-1.8	1.776	74	326	29	16	29
4月	103.6	-3.8	153,829	-0.8	1.756	68	146	28	16	24
5月	103.0	-5.4	154,526	-1.4	1.746	67	132	21	16	30
6月	102.6	-6.6	153,000	-1.5	1.703	61	245	18	13	30
7月	102.9	-8.5	153,523	-1.0	1.697	55	164	13	15	27
8月	103.0	-8.5	152,439	0.1	1.694	65	119	27	21	17
9月	103.0	-7.9	153,641	2.3	1.680	51	130	18	21	12
10月	102.2	-6.8	153,086	2.1	1.680	61	140	22	15	24
11月	102.2	-5.0	152,173	0.8	1.674	56	131	17	21	18
12月	102.2	-3.8	153,743	0.2	1.655	67	69	28	24	15
22年 1月	102.4	-2.2	152,961	0.1	1.649	46	94	11	17	18
2月	102.5	-1.6	152,784	0.1	1.641	43	47	17	12	14
3月	102.6	-1.3	153,787	-1.0	1.623	73	131	24	25	24
4月	103.0	-0.2	151,763	-1.3	1.618	69	181	21	28	20
5月	103.2	0.5	152,195	-1.5	1.614	62	113	22	18	22
6月	102.8	0.4	151,049	-1.3	1.599	73	146	26	25	22
7月	102.8	-0.1	151,709	-1.2	1.597	55	81	12	21	22
8月	102.8	0.0	150,656	-1.2	1.588	53	87	20	14	19
9月	102.9	-0.1	151,553	-1.4	1.565	57	135	22	17	18
10月	r 102.9	0.8	151,406	-1.1	1.569	74	125	28	28	18
11月	p 103.0	0.9				73	230	29	22	22
資料	日本銀行				(株)東京商工リサーチ 神戸支店					

* p は速報値 r は確報値